

ヒートポンプ式冷温水システム 床暖房コントローラー

形名

VPZ-8PC4・VPZ-8PC4-16NB

据付工事・取扱説明書

このコントローラーは、三菱床暖房パネルと組合わせて使用し、床暖房パネルの温度調節を行うものです。



据付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
据付工事は販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。
据付工事はヒートポンプ式冷温水システム 技術マニュアルを参考に行ってください。

据付工事終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。



ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに添付別紙のお客さま相談窓口一覧表とともに保管してください。









・この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告		 注意	
誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの		誤った取扱いをしたときに軽傷または建物・家財などの物的損害に結びつくもの	
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●改造や必要以上の分解はしない (火災や感電の原因) 	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●台所などで直接炎があたるおそれのある場所には据付けない (火災の原因)
 指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ●交流100Vを使用する (火災や感電の原因) 	 浴室取付禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●浴室内据付けや、屋外据付けをしない (火災や感電の原因)
 水ぬれ禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●直接水のかかるところに据付けない (漏電や感電の原因) 	 指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って有資格者である電気工事士が安全・確実に行う (接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因) ●漏電しゃ断器を設けたコンセントを使用する (漏電した場合、感電や火災の原因)

部品のなまえと個数

リモコンボックス…1個 制御ボックス…1個 熱動弁…1個 (VPZ-8PC4用) 熱動弁接続リード線…1個 圧着端子(大)(熱動弁用)…2個

5/8-18UNFねじ(フレア接続) R1/2(PT1/2) ジョイントパイプ…2本 (VPZ-8PC4のみ) ジョイントナット…2個 (VPZ-8PC4のみ) 圧着端子(小)(通信線用)…2個

化粧テープ…1枚 アルミテープ…2枚 保温材…1枚 木ねじ…3本 十字穴付き皿ねじM4…2本

リモコンボックスの寸法: 高さ120mm, 幅70mm

制御ボックスの寸法: 高さ92mm, 幅70mm

熱動弁の寸法: 高さ50mm, 幅40mm

圧着端子(大)の寸法: 長さ20mm, 幅10mm

圧着端子(小)の寸法: 長さ15mm, 幅10mm

ジョイントパイプの寸法: 長さ100mm, 径φ8mm

ジョイントナットの寸法: 高さ15mm, 径φ8mm

十字穴付き皿ねじM4の寸法: 長さ20mm, 径φ4mm

木ねじの寸法: 長さ30mm, 径φ3mm

化粧テープの寸法: 長さ100mm, 幅20mm

アルミテープの寸法: 長さ100mm, 幅20mm

保温材の寸法: 長さ100mm, 幅20mm

温度検知サーミスターの有効長: 1.0m

電源コードの有効長: 1.0m

システム概要と据付場所

●熱動弁・制御ボックスは屋内または床下に取付ける。(屋外設置禁止)

●リモコンボックスは日常操作しやすい場所に取付ける。

●リモコンボックスは高温および直射日光を避けた場所に取付ける。

●コードの最大延長長さは次の通りです。あらかじめ長さを考慮して据付場所を決めてください。

〈通信線(市販2芯): 50m〉
〈温度検知サーミスターリード: 1m〉

■1つの電源で多回路接続する場合(最大8回路まで接続可能)

〈配管例〉
1台の制御ボックスのみ電源コードをそのままにします。その他の制御ボックスの電源コードを端子台から取りはずし、各制御ボックス端子台(電源部)を渡り線で接続する。

〈接続方法〉
渡り線: 極性なし、電源コードを切断し、両端に絶縁被覆付端子(U形またはO形)をかしめる。(600Vビニールキャブタイケープルφ0.75mm以上を使用)

据付方法

リモコンボックスの取付け

1 リモコンボックスの分解

操作パネルをリモコン本体から取り外し、リモコン本体を分解する。

1個用スイッチボックス・カバーなし(JIS C 8340)を用意してください。

※コンクリート用スイッチボックスへの取付けはできません。

2 通信線接続コードの引込み

あらかじめ壁にスイッチボックスを埋込み、制御ボックスから通信線を図のように引込む。

※通信線はPVC単線φ0.65~φ1.2、またはより線0.3~1.25mm²を使用してください。

通信線総延長: 50m以内

3 通信線の接続(リモコン側)

1. リモコン本体から出ているリード線と、制御ボックスからの通信線を付属の圧着端子(小)でかしめ、スイッチボックス内に納める。

2. リモコン本体を付属の十字穴付き皿ねじM4でスイッチボックスに固定する。

4 操作パネルの固定

操作パネルを「パチン」と音がするまで押さえてはめ込み、床温調節つまみを元どおり取付ける。

制御ボックスの取付け

3 通信線を接続する

1. 先端を10mm皮むきした通信線を連結端子に確実に差し込む。(無極性) ※接続後、通信線を軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

2. 通信線などコードを挟み込まないようカバーをねじ4本で締め付ける。

4 配線後カバーを元通り取付ける。

5 温度検知サーミスターの温水戻り管への取付位置は、各温水回路の集まるヘッダー管から、50cm程度離れた位置に取付けてください。(ヘッダー管にあまり近いと他温水回路の影響で温度制御が正常に動作しない場合があります)

配線図

温度検知サーミスターリードカバーの締め付けによって(はさみ込みのないよう図の経路でおさめてください)

電源コード、渡り線 熱動弁接続リード線 通信線 温度検知サーミスターリード

各コードは上図の位置に固定する。(溝の底まで差し込む)

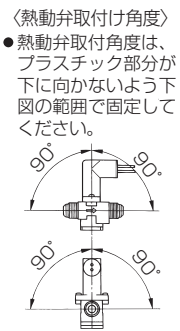
1 カバー固定ねじ4本をはさし、カバーとケースに分解する。

2 ケースの「上」の文字を上側にして付属の木ねじ3本で壁面に固定する。(金属ケースと樹脂ケースを共締めしてください)

熱動弁の取付け

※熱動弁の⇨印表示と循環水の流れ方向を必ず合わせてください。(故障の原因になります)

形名	暖房配管径	配管例
VPZ-8PC4	φ8	付属ジョイントパイプ ろう付け 温水配管
	1/4 (φ9.52)	付属ジョイントパイプ ソケット(市販品) ろう付け 温水配管
VPZ-8PC4-16NB	1/2 (φ15.88)	ユニオン継手(市販品) ろう付け 銅管継手(市販品) 温水配管



VPZ-8PC4の場合

- 付属のジョイントパイプを付属のジョイントナットで熱動弁に締付ける。
:フレア接続(締付トルク:15N・m)
- ジョイントパイプと温水配管をろう付けする。

VPZ-8PC4-16NBの場合

- …メンテナンスのため、温水配管の途中にユニオン継手を使用する。
- 銅管継手(市販品)と温水配管(100mm以上)をろう付けする。
 - 銅管継手を熱動弁に締付ける。(締付トルク:15N・m)
 - ユニオン継手(市販品)で温水配管を接続する。

お願い

- 熱動弁への熱影響を与えないため、必ず接合部から100mm以上離れた位置でろう付けしてください。
- 水漏れ・誤動作防止のため、シールテープやごみが熱動弁に入らないようにしてください。
- 電器ろう付機、ろう材、フラックスは、当社推奨品をご使用ください。

熱動弁の配線

- 付属の熱動弁接続リード線を、制御ボックス内端子に接続する。
- 熱動弁のリード線と、制御ボックス内からの熱動弁接続リード線を付属の圧着端子(大)でかしめる。
 - 熱動弁接続リード線は適切な長さに調整し、切断する。

お願い ●圧着端子に水分がかからないようにしてください。

単位の換算
1N・m=10kgf・cm
上記の式で換算します。

試運転

ヒートポンプ式冷温水システムの据付け完了後、お客様の立会いのもと試運転を行ってください。

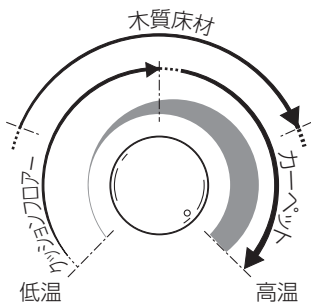
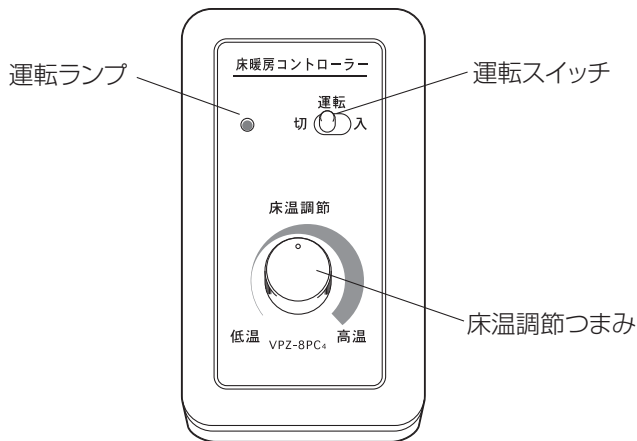
■次の確認をしてください ●接続部に水漏れはありませんか?
●床面は暖まりますか?

使用方法

⚠ 注意

水をかけたり水の付いた手でスイッチの入・切をしない

(漏電や感電の原因)



床温調節の目安

1. 暖房運転

(1) 熱源機が運転していることを確認する。

(2) 運転スイッチを「入」にする。

- 運転ランプ（緑色）が点灯します。
- 熱動弁が開くまでには約4分間かかります。

2. 床温調節

家屋の暖房負荷や表面仕上材の種類により、熱の伝わりかたが異なりますので床温調節表示を目安とし、快適な温度に調節する。

メモ

- 一般的に木質床材の場合は、温度を上げすぎると、そり、狂いなどの原因になりますので、温度調節は低目での使用をおすすめします。

3. 運転停止

運転スイッチを「切」にする。

- 電源ランプ（緑色）が消え、暖房運転を停止します。

シーズン終了時や長期間使用しない場合

電源コードをコンセントから抜いてください。

運転スイッチを「切」にしただけでは制御回路などに0.8Wの電力を消費します。

床暖房をご使用にあたってのお願い

- 次のようなかたがご使用になる場合は、周囲のかたが十分注意して低温やけどなどがおこらないようにしてください。
 - 乳幼児・お子様・お年寄り・ご病人やお身体の不自由なかた。
 - 皮膚の弱いかた。疲労の激しいとき。
 - 深酒や睡眠薬を使用されたとき、また心臓病などで身体を暖めることを医師から止められているかた。
- 床面温度を上げすぎないようにしてください。
床材が薄い場合、高温の設定で長時間接触すると低温やけどをおこす原因になります。
- 床暖房の上に直接、発火のおそれのあるライターやスプレーなどを置かないでください。
火災の原因になることがあります。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。